

2017年度 第3四半期 決算説明会

富士フイルム ホールディングス株式会社

2018年1月31日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2017年度第3四半期(9ヶ月累計) 決算 概要

FUJIFILM

2017年度第3四半期 業績 (2017年4月~12月)

(単位：億円)

	2016年度 9ヶ月累計	2017年度 9ヶ月累計	対2016年度 9ヶ月累計	為替影響	為替影響除く
売上高	16,923 100.0%	18,097 100.0%	1,174 +6.9%	548	626 +3.7%
一時費用除く 営業利益	1,224 7.2%	1,413 7.8%	189 +15.4%	127	62 +5.1%
構造改革費用等 一時費用	41	※ 127	86	0	86
営業利益	1,183 7.0%	1,286 7.1%	103 +8.7%	127	-24 -2.0%
税金等調整前 四半期純利益	1,305 7.7%	1,745 9.6%	440 +33.7%	112	328 +25.1%
当社株主帰属 四半期純利益	787 4.7%	1,245 6.9%	458 +58.1%	78	380 +48.2%
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益	176.57円	284.49円	107.92円	<その他増減要因(対前年度)> 営業利益 原材料：-53億円	
為替 : 米ドル	107円	112円	5円安		
: ユーロ	118円	129円	11円安		

※一時費用金額内訳：上期 79億円、3Q 48億円

セグメント別 連結売上高／営業利益

(単位:億円)

売上高	9ヶ月		対前年度			
	2016年度	2017年度			為替影響	為替影響除く
イメージング	2,575	2,977	402	(+15.6%)	144	258 (+10.0%)
ヘルスケア	2,606	3,091	485	(+18.6%)	89	396 (+15.2%)
インフォメーション	6,424	7,283	859	(+13.4%)	215	644 (+10.0%)
ドキュメント	7,924	7,837	-87	(-1.1%)	189	-276 (-3.5%)
合計	16,923	18,097	1,174	(+6.9%)	548	626 (+3.7%)

*セグメント間取引消去後

(単位:億円)

営業利益	9ヶ月		対前年度			
	2016年度	2017年度			為替影響	為替影響除く
イメージング	284	500	216	(+76.1%)	61	155 (+54.6%)
ヘルスケア	14	74	60	(5.0倍)	30	30 (3.0倍)
インフォメーション	557	612	55	(+9.8%)	60	-5 (-1.0%)
ドキュメント	566	405	-161	(-28.5%)	7	-168 (-29.7%)
全社/連結調整	-224	-231	-7		-1	-6
合計	1,183	1,286	103	(+8.7%)	127	-24 (-2.0%)

3

セグメント別 概況

(単位:億円)

■ イメージング ソリューション

売上高	対前年度	営業利益	前年比
2,977	402 (+15.6%)	500	216 (+76.1%)

- ・ フォトイメージングでは、インスタントカメラ「チェキ」とチェキフィルムのインスタントフォトシステムの販売が欧米を中心に好調に推移。「WALL DECOR」「フォトブック」などの付加価値プリントビジネスも堅調。
- ・ 電子映像では、「FUJIFILM X-E3」や「FUJIFILM X-T20」を中心としたXシリーズ、大型センサー搭載中判ミラーレス「FUJIFILM GFX 50S」および交換レンズの販売が好調で、対前年40.3%増の大幅増収。
- ・ 光学デバイスでは、各種産業用レンズやシネマカメラ用レンズ「MKレンズ」シリーズの販売が好調に推移し、売上が増加。収益性が大きく改善。

電子映像事業の売上が大幅に増加
各事業も好調に推移し、増収大幅増益

4

セグメント別 概況

(単位: 億円)

■ インフォメーション ソリューション

売上高	対前年度	営業利益	前年比
7,283	859 (+13.4%)	612	55 (+9.8%)

- ヘルスケアで、メディカルシステムは、体外診断(IVD)システム、内視鏡を始めとしたすべての分野で販売が好調に推移。バイオCDMOでは、バイオ医薬品のプロセス開発・製造受託が好調に推移。医薬品は、FF-10832の臨床第I相試験を米国で実施することを決定するなどパイプラインの開発を着実に推進。再生医療は、「ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング」の販売が好調に推移、売上に貢献。
- 高機能材料で、ディスプレイ材料は、在庫調整などの影響でタック製品の販売は減少したが、有機EL関連などの新規分野での販売が伸長し、売上はほぼ横ばい。産業機材は、「エクスクリア」の販売が好調。電子材料は先端フォトレジストやフォトリソ周辺材料の先端製品を中心に販売が好調に推移し、売上が増加。ファインケミカル事業では、重合開始材等の高機能化成品の売上が伸長。
- 記録メディアは、大容量データストレージ用磁気テープの在庫調整などの影響で売上が減少。
- グラフィックシステムは、製版・刷版材料の総需要減により売上は減少。インクジェットデジタルプレスの分野において、富士フイルムと富士ゼロックスにおける国内販売体制の再編などの強化をすすめ、デジタル化が進む印刷市場において、最適な製品・ソリューションを提案していく。インクジェット事業はインクおよび産業用インクジェットヘッドなどの販売が好調に推移。

メディカルシステム事業・電子材料事業などでの販売好調に加え
各事業の収益性向上により増収増益

5

セグメント別 概況

(単位: 億円)

■ ドキュメント ソリューション

売上高	対前年度	営業利益	前年比
7,837	-87 (-1.1%)	405	-161 (-28.5%)

- オフィスプロダクト&プリンター事業のうち、オフィスプロダクト分野は、日本やオセアニア地域で販売が減少したが、中国での販売や欧米向け輸出における新製品が好調に推移し、全体では前年並み。オフィスプリンター分野では、低採算のプリンタービジネスの縮小により、販売台数が減少。
- プロダクションサービス事業では、昨年好調だった基幹業務出力向けプリンターや、欧米向けの販売台数が減少し、全体の販売台数は減少。11月に販売を開始した高速・高画質のプロダクションカラー機 (Iridesse™ Production Press) の販売は好調に推移。
- ソリューション&サービス事業は、オセアニア地域で昨年大型商談の反動などで売上が減少したが、国内の業種・業務別ソリューションが堅調に推移し、全体の売上は増加。

低採算のプリンタービジネスの縮小および
オセアニア地域での販売減少により減収
オセアニア地域での販売減や一時費用の影響により減益

6

連結貸借対照表

(単位: 億円)

	15年度末	16年度末	17年 12月末	対16年度末		15年度末	16年度末	17年 12月末	対16年度末
現金 及び現金同等物	6,009	8,760	6,522	-2,238	長短社債 及び借入金	3,657	5,588	4,707	-881
受取債権	6,436	6,358	6,306	-52	支払債務	2,571	2,579	2,420	-159
棚卸資産	3,492	3,392	3,994	602	その他流動 固定負債	4,572	4,484	4,124	-360
その他流動資産	1,726	1,838	1,339	-499	負債計	10,800	12,651	11,251	-1,400
流動資産計	17,663	20,348	18,161	-2,187	株主資本計	20,148	20,436	21,739	1,303
有形固定資産	5,326	5,206	5,471	265	非支配持分	2,172	2,245	2,316	71
営業権	5,069	4,998	6,035	1,037	純資産計	22,320	22,681	24,055	1,374
投資有価証券 その他資産	5,062	4,780	5,639	859	負債・純資産 合計	33,120	35,332	35,306	-26
固定資産計	15,457	14,984	17,145	2,161					
資産合計	33,120	35,332	35,306	-26					

(単位: 円)

期末日 為替レート	15年度末	16年度末	17年 12月末	対16年度末
米ドル	113	112	113	1円安
ユーロ	128	120	135	15円安

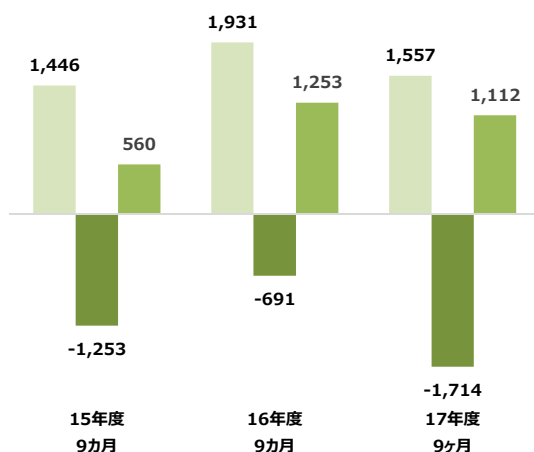
7

キャッシュ・フロー

(単位: 億円)

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー (事業買収除く)

(単位: 億円)



	15年度 9ヵ月	16年度 9ヵ月	17年度 9ヶ月
四半期純利益	925	896	1,339
減価償却費	907	896	953
受取債権の増(-)減(+)	268	364	478
棚卸資産の増(-)減(+)	-271	-175	-351
営業債務の増(+)-減(-)	7	-90	-306
その他	-390	40	-556
営業活動によるC F	1,446	1,931	1,557
設備投資	-462	-555	-484
ソフトウェアの購入	-177	-154	-124
有価証券・投資有価証券等の 売却・購入	99	272	231
事業買収	-367	-13	-1,269
その他	-346	-241	-68
投資活動によるC F	-1,253	-691	-1,714
フリー・キャッシュ・フロー	193	1,240	-157
事業買収除くフリー・キャッシュ・フロー	560	1,253	1,112

8

富士ゼロックスにおける構造改革および 通期業績予想

富士ゼロックスにおける構造改革

■ 構造改革の狙い:

- ・ 今後の競争を勝ち抜き、事業成長を力強く確実なものとするため、抜本的な構造改革により収益・生産性を改善し、強靱な企業体質へ変革
- ・ ゼロックスコーポレーションとの経営統合を見据え、富士ゼロックスの構造改革を完遂することで、強力なシナジーを実現

■ 具体的な施策:

- ・ 国内外の営業体制再編
- ・ 生産拠点の統廃合と開発体制の再編
- ・ 事業採算改善に向けた製品構成の見直し
- ・ 本社機能の統廃合とシェアード化拡大
- ・ 固定資産の圧縮

国内外10,000人の人員削減を含む構造改革の実施
2019年度以降、500億円/年のコスト削減効果
新たな成長領域における事業基盤の確立

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 以降
構造改革費用等	490億円	170億円	60億円	-
効果	-	250億円	500億円	500億円

2017年度 連結業績予想 (2018年1月31日時点)

(単位：億円)

	2016年度	2017年度 (前回予想)	2017年度	対前回予想	対前年度
売上高	23,222 100%	24,600 100%	24,600 100%	0 0.0%	1,378 +5.9%
営業利益	1,723 7.4%	1,850 7.5%	1,300 5.3%	-550 -29.7%	-423 -24.5%
税金等調整前 当期純利益	1,948 8.4%	2,000 8.1%	2,000 8.1%	0 0.0%	52 +2.7%
当社株主帰属 当期純利益	1,315 5.7%	1,250 5.1%	1,400 5.7%	150 +12.0%	85 +6.5%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	296.27円	285.55円	322.16円	36.61円	25.89円
ROE	6.5%	6.0%以上	6.7%	-	+0.2%
為替 : 米ドル	108円	110円	111円	1円安	3円安
: ユーロ	119円	123円	129円	6円安	10円安
銀価格 (/kg)	59,000円	62,000円	61,000円	-1,000円	2,000円

一時費用 控除前 営業利益	1,870
上期 一時費用	80
下期 構造改革費用等 一時費用	490
営業利益	1,300

* 2017年度 営業利益 為替感応度 米ドル：8億円、ユーロ：8億円

* 第4四半期の為替レートは 米ドル：110円、ユーロ：130円を想定しております。

11

2017年度第3四半期 決算説明会

ガバナンス強化の取り組みについて

12

ガバナンス強化の取り組み：進捗状況

コーポレートガバナンス強化の取り組みは、
各強化施策を5つの強化プロジェクトにおいて継続運用中

具体的な強化施策を取り纏めた「改善報告書」を
2017年12月に公表

今後もガバナンス強化委員会にて
継続的に運用状況を確認

FUJIFILM
Value from Innovation

富士フイルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

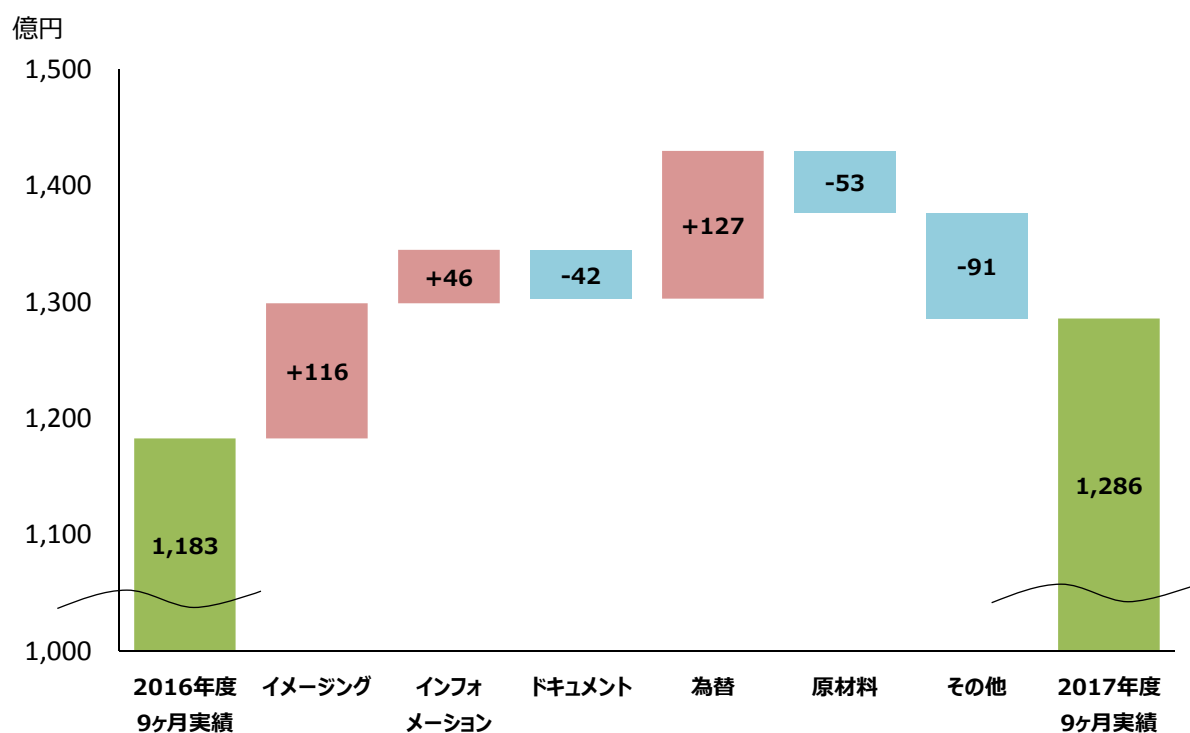
明日のビジネスや生活の可能性を拓けるチカラになるために。

富士フイルム ホールディングス株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

<http://www.fujifilmholdings.com>

営業利益増減分析(対前年9ヶ月累計実績)



3Q/9ヶ月 業績

(単位：億円)

	2016年度3Q	2017年度3Q	対2016年度3Q	2016年度 9ヶ月累計	2017年度 9ヶ月累計	対2016年度 9ヶ月累計
売上高	5,787 100.0%	6,218 100.0%	431 +7.4%	16,923 100.0%	18,097 100.0%	1,174 +6.9%
一時費用除く 営業利益	509 8.8%	575 9.2%	66 +13.0%	1,224 7.2%	1,413 7.8%	189 +15.4%
構造改革費用等 一時費用	0	48	48	41	127	86
営業利益	509 8.8%	527 8.5%	18 +3.4%	1,183 7.0%	1,286 7.1%	103 +8.7%
税金等調整前 四半期純利益	661 11.4%	743 12.0%	82 +12.4%	1,305 7.7%	1,745 9.6%	440 +33.7%
当社株主帰属 四半期純利益	443 7.7%	536 8.6%	93 +20.9%	787 4.7%	1,245 6.9%	458 +58.1%
為替 : 米ドル	110円	113円	3円安	107円	112円	5円安
: ユーロ	118円	133円	15円安	118円	129円	11円安

<その他増減要因 (3Q/9ヶ月 対前年度)> 営業利益 原材料：-25億円 / -53億円

17

3Q/9ヶ月 業績

(単位：億円)

売上高	3Q			9ヶ月		
	2016年度	2017年度	対前年度	2016年度	2017年度	対前年度
イメージング	1,032	1,229	197 (+19.1%)	2,575	2,977	402 (+15.6%)
ヘルスケア	901	1,083	182 (+20.4%)	2,606	3,091	485 (+18.6%)
インフォメーション	2,204	2,475	271 (+12.3%)	6,424	7,283	859 (+13.4%)
ドキュメント	2,551	2,514	-37 (-1.4%)	7,924	7,837	-87 (-1.1%)
合計	5,787	6,218	431 (+7.4%)	16,923	18,097	1,174 (+6.9%)

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	3Q			9ヶ月		
	2016年度	2017年度	対前年度	2016年度	2017年度	対前年度
イメージング	192 [18.5%]	261 [21.3%]	69 (+36.1%)	284 [11.1%]	500 [16.8%]	216 (+76.1%)
ヘルスケア	10 [1.2%]	55 [5.1%]	45 (5.1倍)	14 [0.6%]	74 [2.4%]	60 (5.0倍)
インフォメーション	230 [10.5%]	232 [9.4%]	2 (+0.8%)	557 [8.7%]	612 [8.4%]	55 (+9.8%)
ドキュメント	161 [6.3%]	114 [4.5%]	-47 (-29.4%)	566 [7.1%]	405 [5.2%]	-161 (-28.5%)
全社/連結調整	-74	-80	-6	-224	-231	-7
合計	509 [8.8%]	527 [8.5%]	18 (+3.4%)	1,183 [7.0%]	1,286 [7.1%]	103 (+8.7%)

18

3Q(3ヶ月) セグメント別 ハイライト

イメージング ソリューション

- ・ フォトイメージングでは、インスタントカメラ「チェキ」とチェキフィルムのインスタントフォトシステムの販売が欧米を中心に好調に推移。
- ・ 電子映像では、昨年9月発売の「FUJIFILM X-E3」などのXシリーズや大型センサー搭載中判ミラーレス「FUJIFILM GFX 50S」および交換レンズの販売が好調。

インフォメーション ソリューション

- ・ ヘルスケアで、メディカルシステムは、体外診断(IVD)システム、内視鏡を始めとしたすべての分野で販売が好調に推移。バイオCDMOでは、バイオ医薬品のプロセス開発・製造受託が好調に推移。医薬品は、昨年12月に創薬ベンチャーエディジーン株式会社への出資および遺伝子治療薬の探索を目的とした共同研究契約を締結。
- ・ 高機能材料で、ディスプレイ材料は、有機EL関連などの新規分野での販売が好調に推移。産業機材は、「エクスクリア」の販売が好調。電子材料は先端フォトリソ周辺材料の販売が好調に推移し、売上が増加。

ドキュメント ソリューション

- ・ 売上高は、低採算のプリンタービジネスの縮小やオセアニア地域での販売減少により減収となったが、中国での販売や欧米向け輸出が好調に推移し、前年並み。11月に販売開始した、高速・高画質のプロダクションカラー機 (Iridesse™ Production Press) の販売が好調に推移。
- ・ 営業利益は、主に構造改革費用を含む一時費用の影響により減益。

3Q/9ヶ月 業績

イメージング ソリューション

(単位：億円)

売上高	3Q				9ヶ月			
	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く
フォトイメージング	762	884	122 (+16.1%)	79 (+10.4%)	1,829	2,008	179 (+9.8%)	83 (+4.5%)
電子映像	177	246	69 (+39.0%)	54 (+30.8%)	487	683	196 (+40.3%)	160 (+33.0%)
光学デバイス	93	99	6 (+6.1%)	2 (+1.3%)	259	286	27 (+10.7%)	15 (+5.9%)
光学・電子映像	270	345	75 (+27.7%)	56 (+20.6%)	746	969	223 (+30.0%)	175 (+23.6%)
合計	1,032	1,229	197 (+19.1%)	135 (+13.1%)	2,575	2,977	402 (+15.6%)	258 (+10.0%)

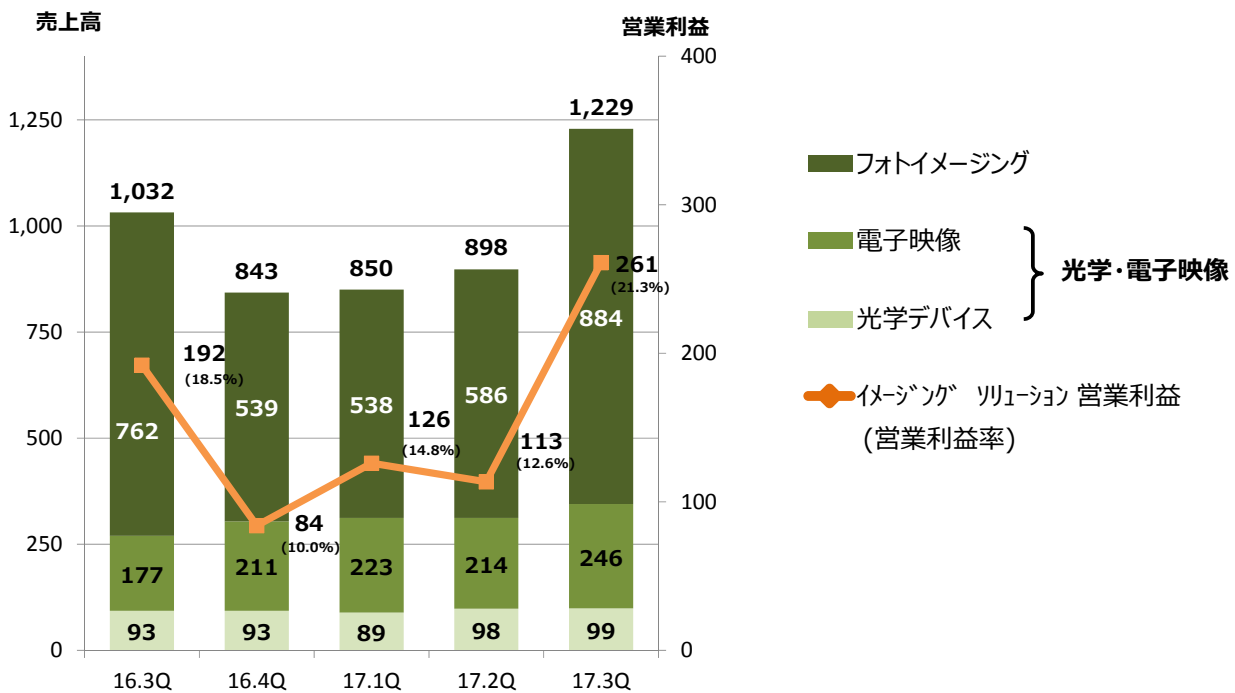
*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	3Q				9ヶ月			
	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く
イメージング	192 [18.5%]	261 [21.3%]	69 (+36.1%)	42 (+21.9%)	284 [11.1%]	500 [16.8%]	216 (+76.1%)	155 (+54.6%)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

イメージングソリューション (単位: 億円)



3Q/9ヶ月 業績

インフォメーションソリューション

(単位: 億円)

売上高	3Q				9ヶ月			
	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く
ヘルスケア	901	1,083	182 (+20.4%)	145 (+16.3%)	2,606	3,091	485 (+18.6%)	396 (+15.2%)
ディスプレイ材料	273	261	-12 (-4.4%)	-12 (-4.4%)	758	731	-27 (-3.6%)	-27 (-3.6%)
産業機材/電子材料 ファインケミカル	289	434	145 (+50.3%)	132 (+45.9%)	807	1,284	477 (+59.3%)	435 (+54.0%)
高機能材料	562	695	133 (+23.7%)	120 (+21.5%)	1,565	2,015	450 (+28.9%)	408 (+26.1%)
記録メディア	128	83	-45 (-35.8%)	-48 (-37.7%)	345	304	-41 (-12.1%)	-55 (-16.0%)
グラフィックシステム/インクジェット	610	611	1 (+0.0%)	-23 (-4.1%)	1,882	1,867	-15 (-0.9%)	-85 (-4.6%)
その他	3	3	0	0	26	6	-20	-20
合計	2,204	2,475	271 (+12.3%)	194 (+8.8%)	6,424	7,283	859 (+13.4%)	644 (+10.0%)

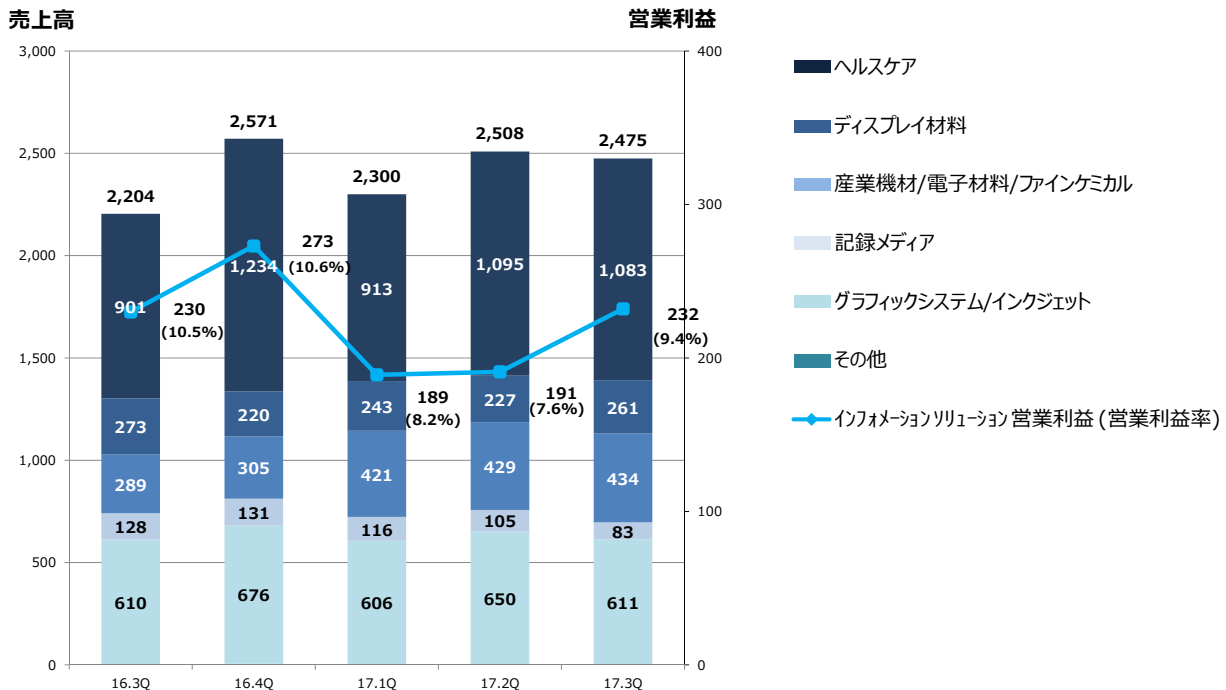
*セグメント間取引消去後

(単位: 億円)

営業利益 [営業利益率]	3Q				9ヶ月			
	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く
ヘルスケア	10 [1.2%]	55 [5.1%]	45 (5.1倍)	27 (3.4倍)	14 [0.6%]	74 [2.4%]	60 (5.0倍)	30 (3.0倍)
インフォメーション	230 [10.5%]	232 [9.4%]	2 (+0.8%)	-20 (-8.9%)	557 [8.7%]	612 [8.4%]	55 (+9.8%)	-5 (-1.0%)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ インフォメーション ソリューション (単位：億円)



3Q/9ヶ月 業績

■ ドキュメント ソリューション

(単位：億円)

売上高	3Q				9ヶ月			
	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く
オフィスプリンター	385	343	-42 (-10.9%)	-58 (-15.2%)	1,196	1,120	-76 (-6.3%)	-112 (-9.3%)
オフィスプロダクト&プリンター	1,493	1,461	-32 (-2.1%)	-75 (-5.0%)	4,632	4,566	-66 (-1.4%)	-163 (-3.5%)
プロダクションサービス	322	309	-13 (-4.0%)	-23 (-7.2%)	999	981	-18 (-1.8%)	-40 (-4.0%)
ソリューション&サービス	591	629	38 (+6.4%)	10 (+1.6%)	1,876	1,913	37 (+2.0%)	-12 (-0.6%)
その他	145	115	-30 (-20.4%)	-50	417	377	-40 (-9.4%)	-61
合計	2,551	2,514	-37 (-1.4%)	-138 (-5.4%)	7,924	7,837	-87 (-1.1%)	-276 (-3.5%)

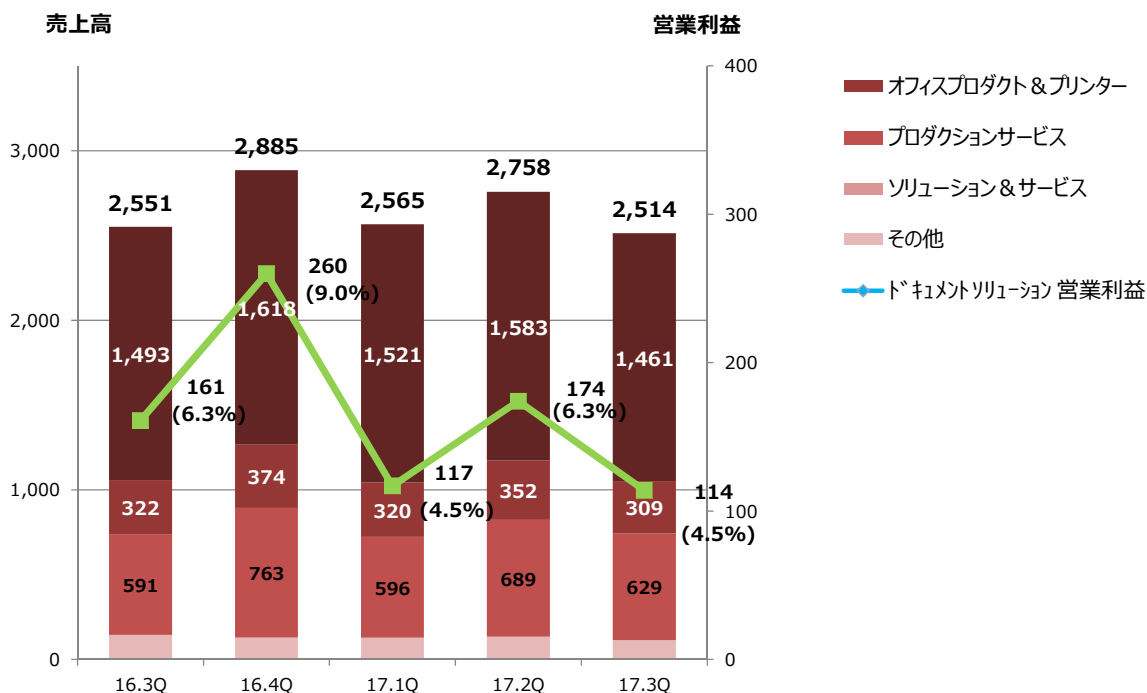
* **セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	3Q				9ヶ月			
	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く
ドキュメント	161 [6.3%]	114 [4.5%]	-47 (-29.4%)	-78 (-48.6%)	566 [7.1%]	405 [5.2%]	-161 (-28.5%)	-168 (-29.7%)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ ドキュメント ソリューション (単位: 億円)



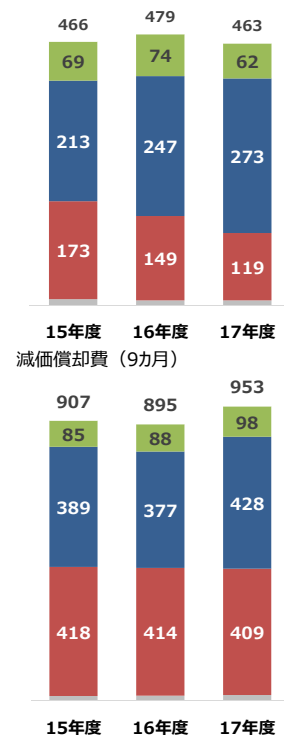
国内・海外別連結売上高

(単位: 億円)

	2016年度 9ヶ月		2017年度 9ヶ月		対前年度	
	構成比(%)		構成比(%)			
日本	40.8%	6,912	40.5%	7,335	423	(+6.1%)
米州	19.8%	3,355	19.6%	3,541	186	(+5.6%)
欧州	11.8%	1,999	12.9%	2,331	332	(+16.6%)
内、中国	11.9%	2,006	12.4%	2,242	236	(+11.7%)
アジア他	27.5%	4,657	27.0%	4,890	233	(+5.0%)
海外	59.2%	10,011	59.5%	10,762	751	(+7.5%)
合計	100.0%	16,923	100.0%	18,097	1,174	(+6.9%)

設備投資、減価償却費

設備投資（9ヶ月）



(単位：億円)

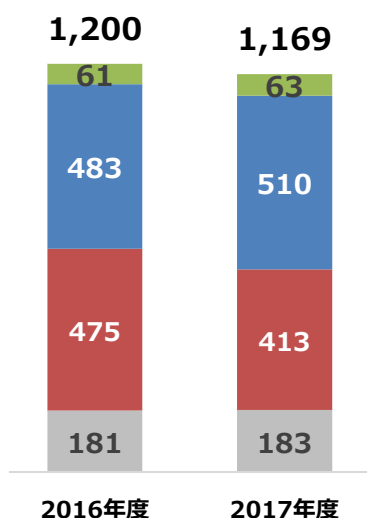
年度	3Q			9ヶ月			通期		
	2015	2016	2017	2015	2016	2017	2015	2016	2017 (予想)
イメーシング	20	22	24	69	74	62	102	103	
インフォメーション	83	71	102	213	247	273	393	401	
ドキュメント	73	46	37	173	149	119	233	200	
コーポレート	5	4	4	11	9	9	13	14	
設備投資 ※	181	143	167	466	479	463	741	718	800
イメーシング	28	30	33	85	88	98	129	111	
インフォメーション	133	130	146	389	377	428	520	491	
ドキュメント	149	139	153	418	414	409	581	553	
コーポレート	5	6	5	15	16	18	20	21	
減価償却費	315	305	337	907	895	953	1,250	1,176	1,100
有形固定資産の減価償却費 ※	166	148	166	473	437	494	658	589	

※ ドキュメント ソリューション部門等のレンタル資産を除く。

27

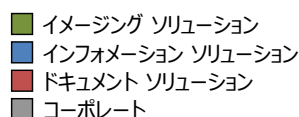
研究開発費、販売費及び一般管理費

研究開発費（9ヶ月）



(単位：億円)

年度	3Q		9ヶ月		通期	
	2016	2017	2016	2017	2016	2017 (予想)
イメーシング	18	23	61	63	82	
インフォメーション	163	167	483	510	662	
ドキュメント	149	133	475	413	615	
コーポレート	60	62	181	183	243	
研究開発費	390	385	1,200	1,169	1,602	1,660
<売上高比>	6.7%	6.2%	7.1%	6.5%	6.9%	6.7%
販売費及び一般管理費	1,465	1,640	4,465	4,830	5,981	
<売上高比>	25.3%	26.3%	26.4%	26.7%	25.8%	



28

為替、原材料価格、人員

為替

(単位：円)

	2016年度						2017年度				
	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	通期(予想)
米ドル	108	102	110	107	114	108	111	111	113	112	111
ユーロ	122	114	118	118	121	119	122	130	133	129	129

原材料価格 (平均)

(単位：千円/kg)

	2016年度						2017年度				
	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	通期(予想)
銀	57	63	59	59	63	59	63	60	61	61	61

人員

(単位：人)

	2016.12末	2017.3末	2017.6末	2017.9末	2017.12末
連結	78,665	78,501	80,672	80,315	80,067

29

2016年度3Q/9ヶ月決算における過年度修正

(単位：億円)

	修正前 2016年度3Q	2016年度3Q	対修正前 2016年度3Q	修正前 2016年度 9ヶ月累計	2016年度 9ヶ月累計	対修正前 2016年度 9ヶ月累計
売上高	5,820 100.0%	5,787 100.0%	-33	17,029 100.0%	16,923 100.0%	-106
営業利益	506 8.7%	509 8.8%	+3	1,141 6.7%	1,183 7.0%	+42
税金等調整前 当期純利益	656 11.3%	661 11.4%	+5	1,262 7.4%	1,305 7.7%	+43
当社株主帰属 当期純利益	434 7.5%	443 7.7%	+9	769 4.5%	787 4.7%	+18
為替 : 米ドル	110円	110円		107円	107円	
: ユーロ	118円	118円		118円	118円	

30

2017年度 セグメント別業績予想 (2018年1月31日時点)

(単位: 億円)

売上高	2016年度	2017年度 (前回予想)	2017年度	対前回予想	対前年度
イメージング	3,418	3,700	3,800	100	382 (+11.2%)
ヘルスケア	3,840	4,450	4,450	0	610 (+15.9%)
インフォメーション	8,995	10,100	10,100	0	1,105 (+12.3%)
ドキュメント	10,809	10,800	10,700	-100	-109 (-1.0%)
合計	23,222	24,600	24,600	0	1,378 (+5.9%)

*セグメント間取引消去後

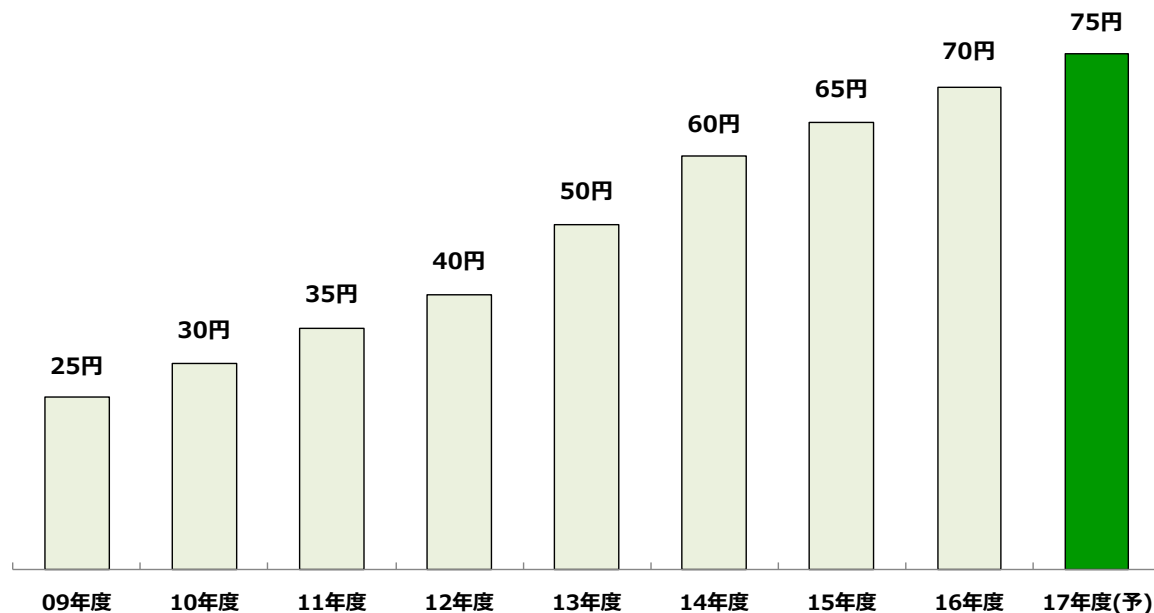
営業利益	2016年度	2017年度 (前回予想)	2017年度	対前回予想	対前年度
イメージング	368	490	540	50	172 (+46.6%)
ヘルスケア	124	200	190	-10	66 (+53.2%)
インフォメーション	830	930	880	-50	50 (+6.1%)
ドキュメント	827	740	190	-550	-637 (-77.0%)
全社/連結調整	-302	-310	-310	0	-8
合計	1,723	1,850	1,300	-550	-423 (-24.5%)

31

株主還元

■ 配当金

2017年度の配当金は、8期連続増配となる対前年 5 円増配の75円/株を予定



32

パイプライン (2018年1月31日時点)

開発番号	薬効・適応症	剤形	地域	開発段階
T-705	抗インフルエンザウイルス薬	経口	日本	承認済み
			米国	Ph III 実施中
T-3811	キノロン系合成抗菌薬	経口	中国	承認申請中
T-2307	抗真菌薬	注射	米国	Ph I 終了
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療薬	経口	米国	Ph II 終了
			日本	Ph II 終了
T-4288	新規フルオロケトライド系抗菌薬	経口	日本	Ph III 実施中
ITK-1	去勢抵抗性前立腺がん治療薬	注射	日本	Ph III 実施中
FF-10501	再発・難治性骨髄異形成症候群治療薬	経口	日本	Ph I 終了
			米国	Ph II 実施中
FF-10502	進行・再発膀胱がん/卵巣がん治療薬	注射	米国	Ph I 実施中
			欧/日	Ph I 準備中
FF-21101	進行・再発固形がん治療薬 (Armed抗体)	注射	米国	Ph I 実施中
			日	Ph I 準備中
F-1311	前立腺がん診断薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph II 終了
FF-10101	再発・難治性急性骨髄性白血病治療薬	経口	米国	Ph I 実施中
F-1515	神経内分泌腫瘍治療薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph I 実施中
FF-10102	自己免疫疾患治療薬	経口	米/欧/日	非臨床試験実施中
FF-10832	進行性固形がん治療薬 (ゲムシタピンリポソーム)	注射	米国	Ph I 準備中

※持分法適用会社の協和キリン富士フィルムバイオロジクス (FKB) のFKB327 (アダリムマブバイオシミラー) は、欧州申請中。FKBとアストラゼネカ社のJ VのFKB238 (ベバシマブバイオシミラー) は、米国、欧州、その他でPh III実施中。

33

参考情報

富士フィルムホールディングス 株主・投資家情報

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/index.html>

富士フィルムホールディングス 統合報告書2017

http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir_library/integrated_reports/index.html

IRイベント資料

http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir_events/business_presentations/index.html

・事業説明会資料

- 2016年 5月 ドキュメント事業説明会
- 2016年 12月 医薬品・再生医療事業説明会
- 2017年 3月 エレクトロニクスマテリアルズ (EM) 事業説明会

富士フィルムってどんな会社？

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/individual/guidance/index.html>

34

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拡げるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

<http://www.fujifilmholdings.com>